

SUZUKA21
鈴鹿F1日本グランプリ
地域活性化協議会

<http://suzuka21.com/>

環境整備部会資料

130802

鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会 環境整備部会

目 次

1	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所	1
2	近畿日本鉄道	8
3	伊勢鉄道	9
4	三重交通	11
5	中日本高速道路	12
6	鈴鹿市中央消防署	14
7	鈴鹿市	16

鈴鹿地区F1交通円滑化検討 2013年度の対応方針

<目次>

1. 中勢道路5工区を活用したシャトルバス専用レーン
2. スマートホンアプリを活用した情報提供
3. チラシに推奨ルート時刻表の表示
4. 道路利用者への情報提供

平成25年8月2日
三重河川国道事務所

鈴鹿F1交通円滑化 2013年度対応方針

1. 2012年までの取り組みを踏まえた現状・課題

◆ 交通状況および観戦者行動に関して

- (1) 推奨ルート案内はチラシ配布、HP等にて継続して周知活動を行っているものの、依然、鈴鹿ICへ交通は集中【課題1】参照
- (2) 推奨ルートが渋滞、所要時間が時間帯により変化（鈴鹿ICルートが優位な時間帯も有）【課題2】参照
- (3) 観戦者は、情報により行動を変更、情報入手した場合は渋滞に対する許容傾向も高い

◆ 情報収集・提供に関して

- (4) これまでの調査方法では、広範囲かつリアルタイムな交通情報の収集に、限界有
- (5) 鈴鹿ICへ繋がる県道は、VICS非対応であり渋滞情報がカーナビに提供されない
- (6) 経路変更が可能なタイミングでの提供が必要（カーナビセット前に提供）
- (7) 文字情報（ツイッター）では経路誘導に限界

2. 2013年に懸念される課題

◆ 同時期に他のイベントによる渋滞状況への影響

- (8) 式年遷宮・伊勢まつり・津まつり等 鈴鹿を通過して帰宅するイベントが決勝日に開催

3. 鈴鹿F1交通円滑化の検討方針

鈴鹿ICへの集中を抑制するため経路および時間分散による円滑化を目指す。

広域な交通状況を収集し、観戦者が面的かつリアルタイムに経路選定できる情報の提供

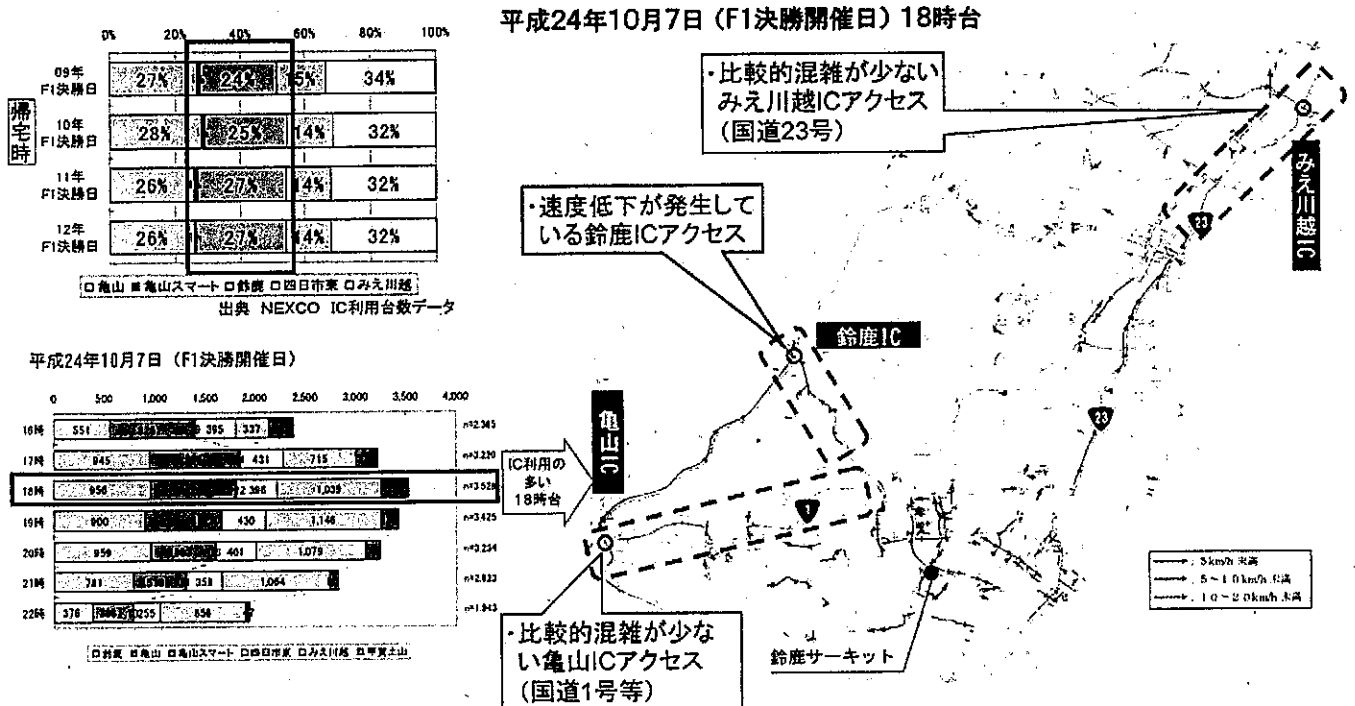


【対策1】観戦者の帰宅ルートの渋滞情報の提供
【対策2】鈴鹿市内周辺含めた面的な渋滞情報の提供

鈴鹿F1交通円滑化 2013年の課題

【課題1】

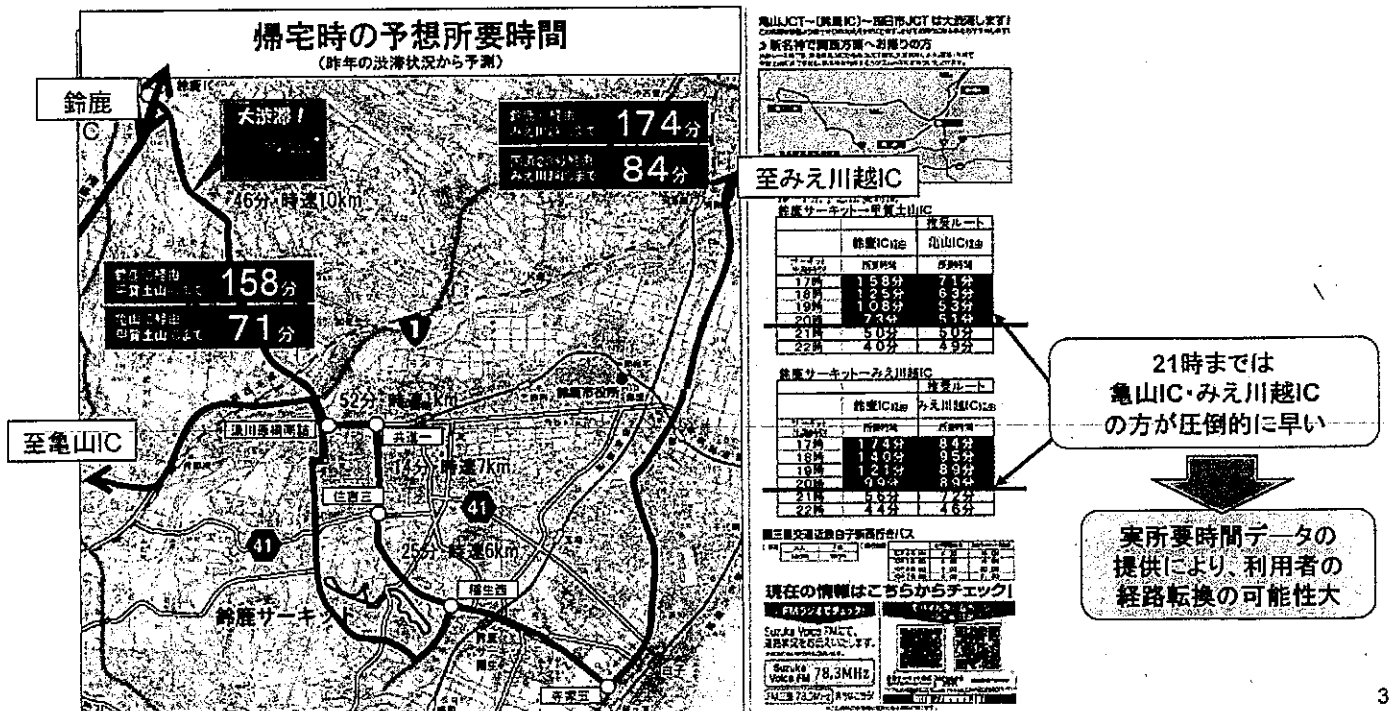
- ・施策実施後も、IC利用率に大きな変化はなく、十分な経路分散が図られていない
- ・更なる渋滞改善のためには、亀山IC、みえ川越ICなどの周辺ICへの経路分散が不可欠



鈴鹿F1交通円滑化 2013年の課題

【課題2】

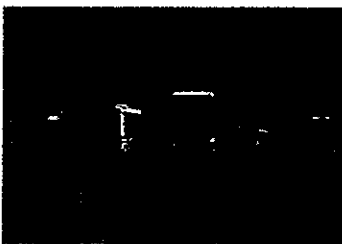
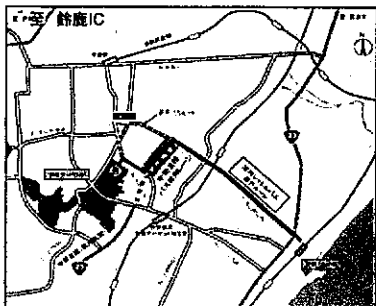
- ・F1開催日の夜21時までは、直近の「鈴鹿IC」経由より、周辺の「亀山IC」、「みえ川越IC」経由の方が、大幅に所要時間が早いことを確認
- ・漠然とした推奨ルート案内ではなく、データに基づく情報提供を検討中



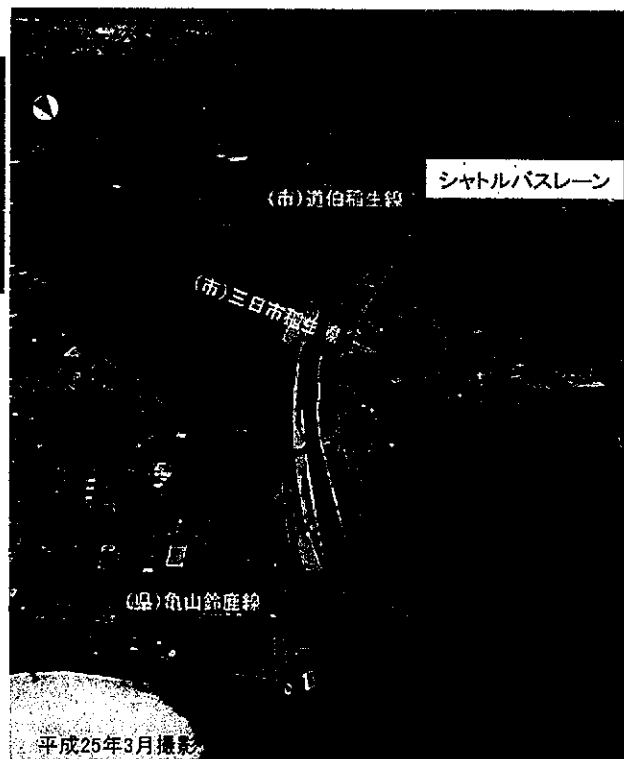
1. 中勢道路5工区を活用したシャトルバス専用レーン

◆工事中の中勢道路5工区をバス専用レーンとして利用し、混雑を回避

位置図

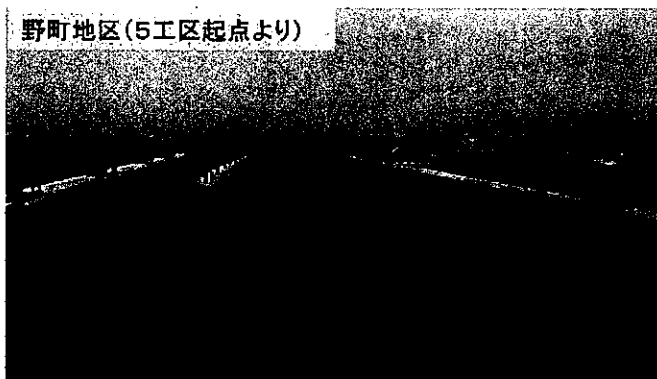


昨年度の実施状況



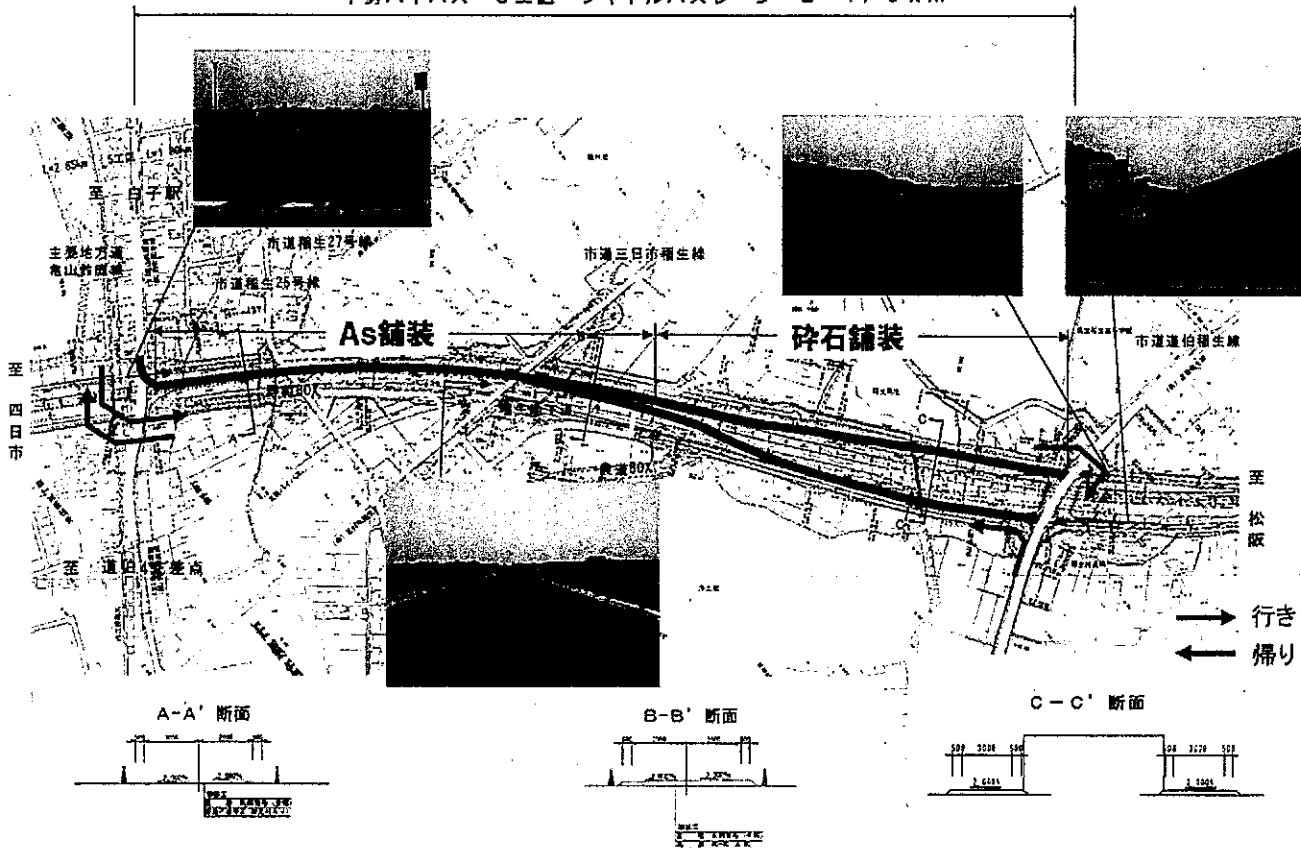
平成25年3月撮影

野町地区(5工区起点より)



1. 中勢道路5工区を活用したシャトルバス専用レーン

中勢バイパス 5工区 シャトルバスレーン L=1.0 km



2. スマートホンアプリを活用した情報提供

- 広域な交通状況を収集し、観戦者が面的かつリアルタイムに経路選定できる情報の提供
 - 【対策1】F1観戦者の帰宅ルートの渋滞情報の提供
 - 【対策2】鈴鹿市内周辺含めた面的な渋滞情報の提供（鈴鹿市資料参照）

対策

対象

具体案

【対策1】
F1観戦者の帰宅ルートの
渋滞情報の提供

F1観戦者

観戦者参加型の情報提供

—スマートフォンを活用した新たな情報提供ツール—

- ・観戦者の帰宅行動をリアルタイムに把握
- ・帰宅ルート限定

三つの対策の情報に齟齬が生じないよう

【対策2】
鈴鹿市内周辺含めた
面的な渋滞情報の提供

鈴鹿市民

F1観戦者

その他イベント観戦者

Internet
Premium Club

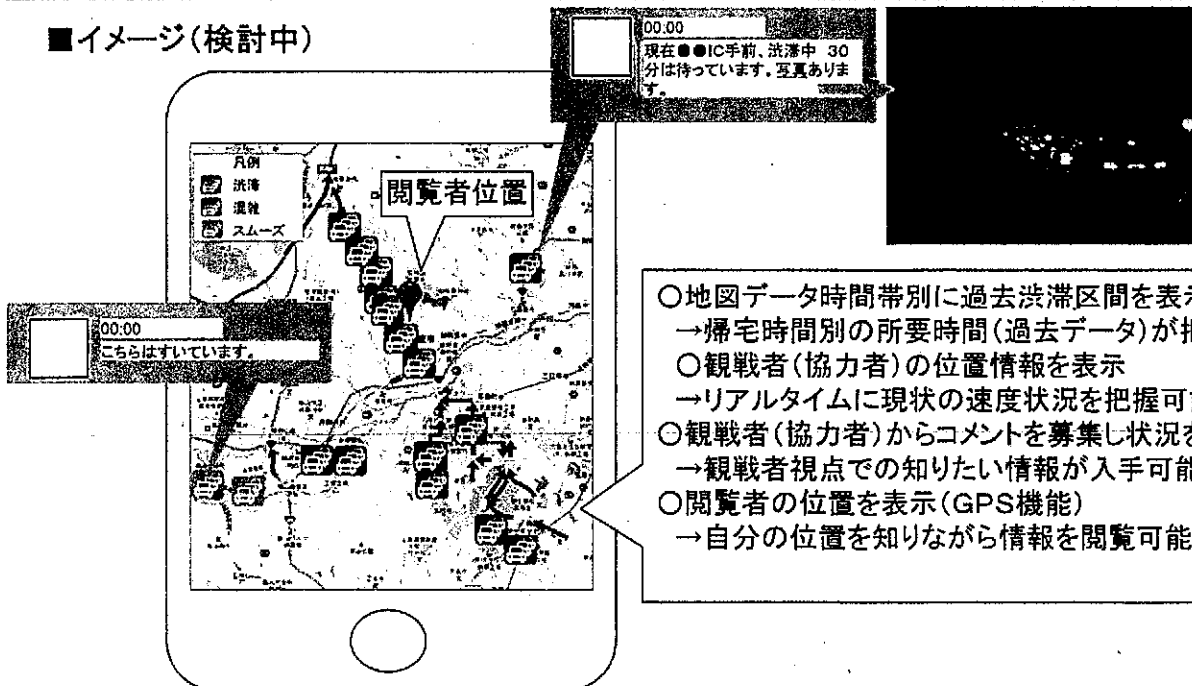
- ・鈴鹿周辺の渋滞をリアルタイムに把握
- ・非幹線も含めた網羅的なルート

6

2. スマートホンアプリを活用した情報提供

- H23から本格運用を開始したツイッターによる情報提供は、フォロワー数最大約2,500人（前年、（試行）に比べ約3割増加）で評価も上々
- 文字情報を視覚的に補完し、経路分散を促す新たなツールとして、スマートフォンを活用した情報提供を検討中

■イメージ（検討中）



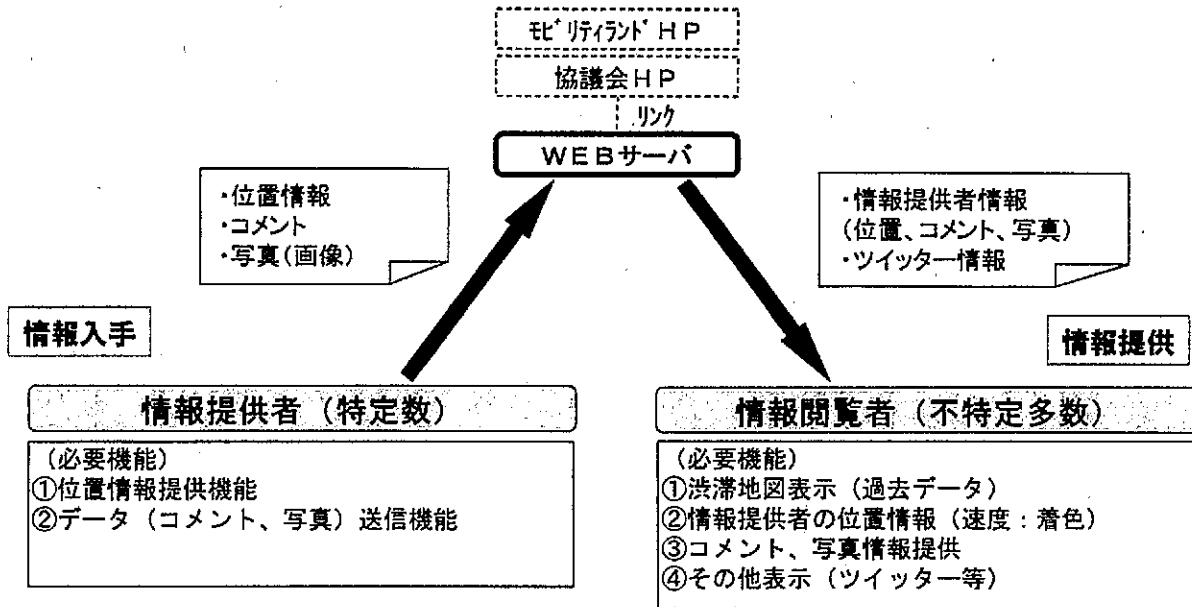
- 地図データ時間帯別に過去渋滞区間を表示
 - 帰宅時間別の所要時間（過去データ）が把握可能
- 観戦者（協力者）の位置情報を表示
 - リアルタイムに現状の速度状況を把握可能
- 観戦者（協力者）からコメントを募集し状況を補足
 - 観戦者視点での知りたい情報が入手可能
- 閲覧者の位置を表示（GPS機能）
 - 自分の位置を知らながら情報を閲覧可能

7

2. スマートホンアプリを活用した情報提供

- 情報入手は、専用アプリケーションを開発し配布(座標自動送信→速度設定)
- 情報提供は、WEBサイトによる情報提供

情報の流れイメージ



8

2. スマートホンアプリを活用した情報提供(対策1参考イメージ)

F1協議会ページにてインターナビ情報を提供し、観戦者参加型情報とリンクさせる。

■鈴鹿F1日本グランプリ
地域活性化協議会HP: TOPページ(イメージ)

The screenshot shows the website for the Suzuka F1 Grand Prix, specifically the 'SUZUKA21' page. The main content area features a map titled '鈴鹿サーキット周辺の渋滞状況' (Traffic situation around Suzuka Circuit). The map shows the circuit and surrounding roads with traffic data. Text on the page includes:

- 「現在の鈴鹿サーキット周辺の渋滞状況を示しています、右のインマップエリアから知りたいエリアを選択してください。」
- 「この情報は本田技研工業株式会社の協力で提供しています。」

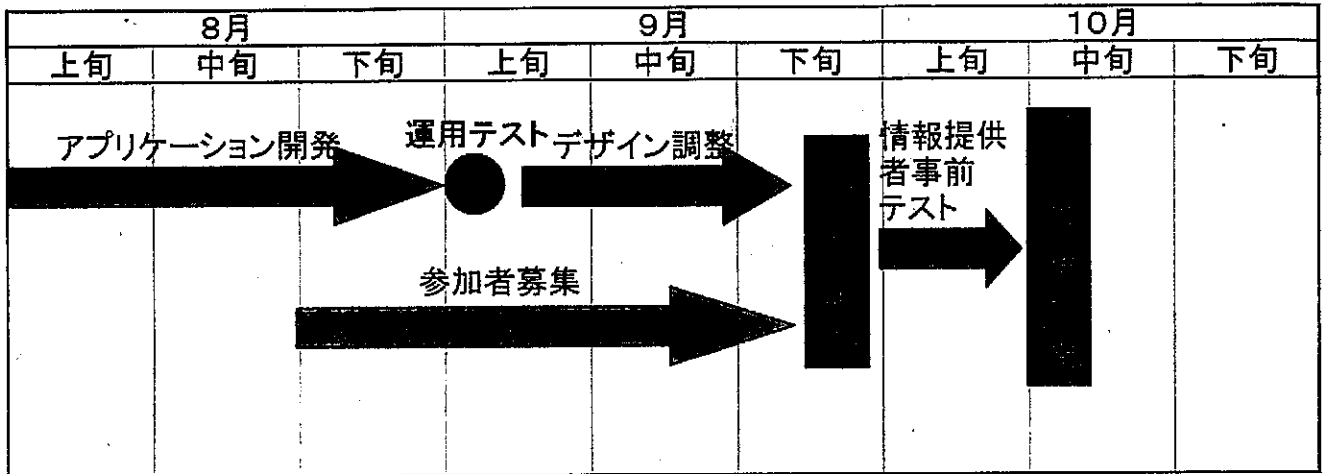
 The page also includes a 'CONTENTS' sidebar with links to 'ホーム', 'F1交差点', 'お役立ち', 'お知らせ', '活動報告', and '挨拶・招集'. At the bottom, there is a section for '観光物産情報' (Tourism and local products information) with buttons to view '鈴鹿市' (Suzuka City) and '津市' (Tsushima City). The footer indicates 'Powered by Honda intemavi' and the date '2013年10月12日 15:30時点'.

- ① 鈴鹿市内の推奨ルート以外の交通状況が把握できる
- ② 鈴鹿市内だけでなく、広域の面的な情報について把握できる

9

2. スマートホンアプリを活用した情報提供

- 専用アプリケーション開発・配布スケジュール
- 参加者の募集にあたり、

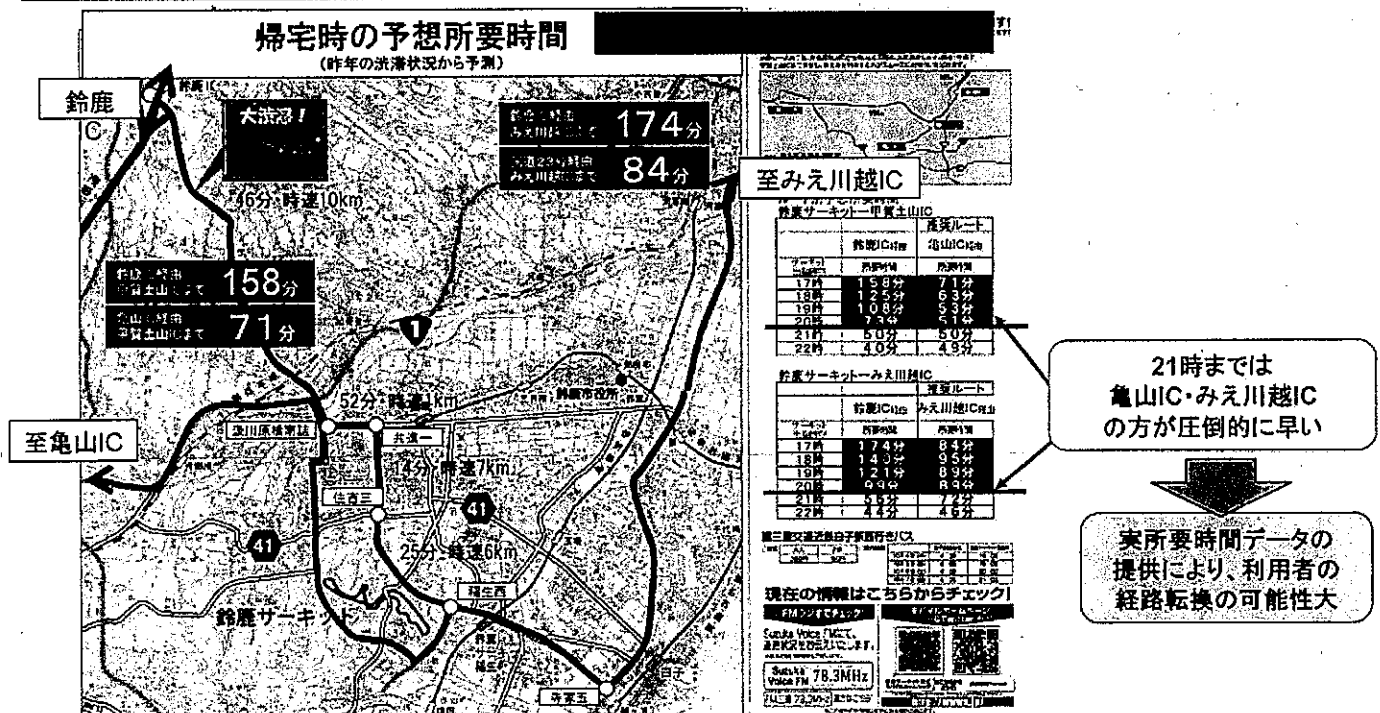


10

3. チラシに推奨ルート時刻表の表示

コンビニなどで配布予定のチラシに過去の実走データに基づく、推奨ルートの時刻表を掲載し、観戦者の帰宅ルートの分散を推進

(現在リーフレット発行者であるモビリティランドと調整中)



11

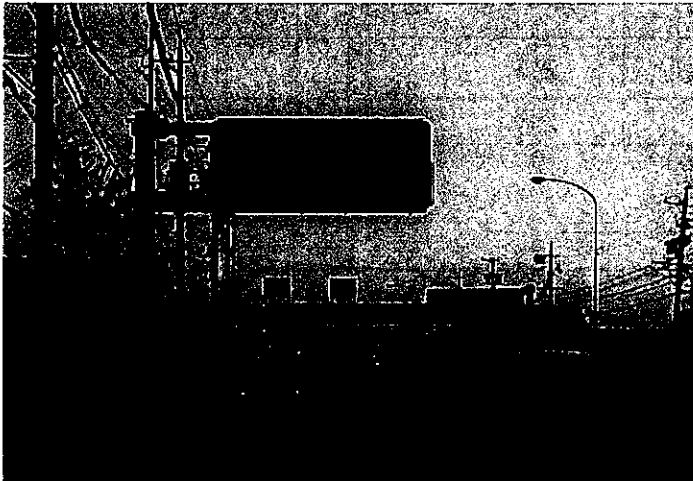
4. 道路利用者への情報提供

◆道路情報板、路側ラジオを活用した情報提供を実施予定

道路情報板

【実施予定期間】

9月27日(金)～10月13日(日)



路側放送

【放送箇所】

- ・北勢国道:伊賀IC付近、関JCT付近
- ・三重河川国道:木曾岬、桑名、亀山

【実施予定期間】

9月27日(金)～10月13日(日)

放送内容

来る、10月11日から13日、鈴鹿市内において、F1日本グランプリのため、交通集中による混雑が予想されます。

開催当日は公共交通機関をご利用下さい。

鈴鹿F1日本グランプリ2013への取組み(案)

1. 臨時列車運転(案)

(1) 10月12日(土)

種別		区分	臨時特急	延長特急	臨時急行	計
区間						
名古屋方面から	名古屋～白子	往路	2本	1本 (大阪上本町)	—	3本
合計			2本	1本	—	3本

※前年より臨時特急1本増発

(2) 10月13日(日)

種別		区分	臨時特急	延長特急	臨時急行	計
区間						
名古屋方面から	名古屋～白子	往路	3本	1本 (大阪上本町)	—	4本
	白子～名古屋	復路	1本	—	6本	7本
大阪方面から	大阪上本町～白子	往路	1本 (名古屋行)	—	—	1本
	白子～大阪上本町	復路	1本	—	—	1本
合計			6本	1本	6本	13本

※前年と同一本数

2. 白子駅での取組み

(1) 臨時乗車券発売所の設置

※設置場所については三重交通バスと併設で検討中

(2) 仮設トイレの設置

※協議会事務局と共同で設置。設置場所については前年と同一場所で検討中

(3) 三重交通バスとの連携(白子駅到着時間調整)

※レース終了後の白子駅での滞留対策

(4) 帰りお客様滞留場所の検討

※白子駅西口ロータリー工事進捗により検討中

以上

今年の取組み

安全輸送の確保に向けて



○ F1輸送の無事故完遂

- * 全社員一丸となって安全の確保に努め、JR東海と協調し輸送の安全を図ります。
- * 市道稲生107号線の占有使用および仮設照明の増設、看板・プラカードを利用し、わかりやすい案内に努めます。



お客様に選択されるサービスの提供

○ 臨時列車の運転、優等列車の鈴鹿サーキット稲生駅臨時停車の実施

- * JR東海と協調し、特急・快速列車の増発および鈴鹿サーキット稲生駅への臨時停車実施します。
- * 全ての快速列車（臨時を含む）が4両編成以上での運転となります。
- * F1期間中の臨時列車・臨時停車につきましては、8月下旬に当社HP等でご案内いたします。

○ ご利用の多い時間帯への臨時列車運転（列車運転時刻の改善）

過去の利用状況をふまえ、ご利用の少なかった時間帯の臨時列車をご利用の多かった時間帯にシフトさせるなど、利用ニーズに合うようなダイヤを検討中。



列車本数や運転時刻については、現在調整中です。

諸般の事情により、変更になる場合もございますので、ご承知おき願います。

第62回 神宮式年遷宮と重なるため
どのような輸送状況に推移するのか。
充分留意して取り組む必要がある。

今年 of 取組み

お客様に選択されるサービスの提供

快速みえ得ダネ4
回数券

○ お値打な企画乗車券のごあんない

- * 4枚1セットの「快速みえ得ダネ4回数券」(名古屋市内ー津 1セット3,000円)をPRし、観戦されるお客様の経済的負担を軽減し、公共交通の利用促進に努めます。

参考:名古屋ー鈴鹿サーキット稲生2日間往復4,160円 → 得ダネ4回数券3,000円

○ 公共交通利用促進キャンペーンに協賛

- * 鉄道利用のメリットをアピールし、F1期間中の地域交通の円滑化(渋滞解消)に貢献。
- * 公共交通利用促進キャンペーンポスターの掲出。



○ 鈴鹿サーキット稲生駅の利便性向上

- * 当協議会と協同して、鈴鹿サーキット稲生駅に仮設トイレ及び仮設照明設備を設置。
- * JR東海の協力を仰ぎ、鈴鹿サーキット稲生駅に臨時乗車券発売所を設置。
- * 当協議会おもてなし部会による通訳ボランティア・インフォメーションブースの設置。
- * コーン・パー・プラカードを用いた、わかりやすい誘導案内の実施。



○ 海外誘客のための施策 (調整中)

- * 昨年、三重県観光・国際局国際戦略課のご支援を得て実施し好評であった「Japan Rail Pass」ご利用のお客様への施策について、本年も実施出来るよう関係箇所と調整中です。



Japan Railway Passについて

海外からの旅行者を対象にJR6社が発行するJR全線が乗り放題(のぞみ・みずほを除く)となる鉄道パス。7日間用・14日間用・21日間用があり、90日間以下の短期滞在を認められた観光ビザの保有者であれば購入できます。日本へ入国する前に指定の旅行代理店で引換証を購入し、日本の引換所窓口にてパスと交換します。

JR各線以外の鉄道会社ではご利用になれません。別途運賃等が必要となります。

☆神宮式年遷宮と重なるため、例年と異なるお客様の流動に留意する。

☆2018年までの継続開催決定を踏まえ、今年度のみならず来年度以降にもつながる施策・対策を検討する。

☆ICカード乗車券共通化への対策(伊勢鉄道は利用不可)

2013 F1グランプリ開催に向けた取り組みについて

シャトルバスの運行について（白子駅～鈴鹿サーキット間）

■10月11日（金）～13日（日）運行予定

※運行時間帯については、レース開催予定に合わせて今後検討

【参考：昨年の運行時間帯】

- ・平成24年10月5日（金） 6:00～18:00
- ・平成24年10月6日（土） 6:00～20:00
- ・平成24年10月7日（日） 6:00～21:00

※車両台数 決勝ピーク時で約80両確保する方向で調整

■中勢バイパス用地をバス専用レーンとして走行

- ・昨年に引き続き、国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所様のご協力により、中勢バイパス用地をシャトルバス専用レーンとして利用。サーキット周辺の渋滞を回避することにより、白子駅～鈴鹿サーキット間の輸送時間の短縮が図られ、円滑な運行が可能

■シャトルバス乗り場について

【白子駅側】

- ・土曜日、日曜日には白子駅前商店街様のご協力を頂き、時間帯通行規制による乗降場所を設置。券売所の設置位置や旅客導線については、関係各所様と検討中

【鈴鹿サーキット側】

- ・昨年同様、8番駐車場をシャトルバスの乗降場所として利用させていただく予定

■その他

- ・昨年も携帯型GPSをバスに搭載。（分析用）依頼あれば今年度も実施予定
- ・ベビーカー利用者等への配慮
- ・雨天時（特に荒天時）の対策について
- ・本年も津まつり開催日とかさなり、また伊勢方面の遷宮行事もあるため車両台数確保に努める
- ・白子駅付近での観光バスの下車対策について
- ・中勢バイパス開通以降のシャトルバス運行経路について（来年度）

名古屋行き直行バスの運行について

■輸送内容

10月11日（金）～13日（日）運行予定

往路：名古屋駅→鈴鹿サーキット 復路：鈴鹿サーキット→名古屋駅

■運賃（予約制）

片道2,500円 往復4,500円

2013 鈴鹿 F1 日本 GP 対策案

1. 対策案

対策①・・・鈴鹿 IC 出口信号現示の調整

10月11日(金・フリー走行) 10月12日(土・予選) 10月13日(日・決勝)
の3日間、高速出口側の「青」時間を延長予定(鈴鹿警察署と協議済)

対策②. ポスター等の配布 (F1 対策協議会決定事項)

休憩施設にポスター、リーフレットを配布予定。

対策③. 迂回推奨・渋滞末尾警戒の標識車配置及び簡易LED標識での案内

期間中、5時～12時まで以下の箇所において標識車等による迂回推奨を実施。
(※実施時間は今後調整)

- ・東名阪道 四日市東 IC (下り線) 出口手前 1台【迂回推奨】
- ・伊勢湾岸道 みえ川越 IC (下り線) 出口手前 1台【迂回推奨】
- ・新名神 亀山 JCT (上り線) 雪氷基地付近 1台【迂回推奨】

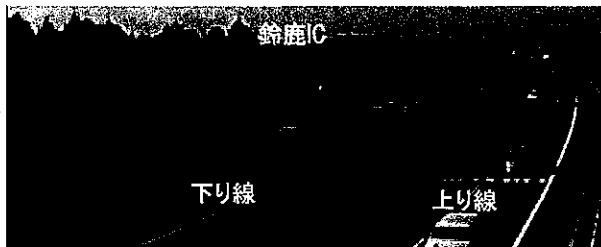
また、出口渋滞に対して渋滞末尾での後尾警戒を実施。

- ・東名阪道 鈴鹿 IC (上下線) 各1台 計2台【渋滞後尾警戒】

※NEXCO、協議会側もHP等で同様の誘導案内を実施。

2013 鈴鹿 F1 日本 GP 対策案

【昨年(10月5日(金))の状況】



鈴鹿 IC 本線出口分流部状況 (8:00頃)



鈴鹿 IC 出口交差点状況 (8:30頃)



みえ川越 IC 本線出口分流部状況 (10:30頃)



【四日市東 IC】



【亀山 JCT 付近】

2013鈴鹿F1日本GP 対策案



3

2013鈴鹿F1日本GP 対策案

標識車配置予定表

F1対策・後尾塞戒 設置位置	追加文字入力①	追加文字入力②
	← フリンク標示 →	
F1対策 新名神⑤ 亀山JCT(新亀山基地)手前		
F1対策 伊勢湾岸道⑥ みえ川越IC手前		
F1対策 東名阪⑦ 四日市東IC手前		



4

鈴鹿F1日本グランプリ開催時における救急救護体制について

1 消防職員派遣の基本

- (1) F1開催期間中であっても、消防の本来業務に支障が出ないこと。
- (2) 消防職員の協力は、平成25年10月12日(土)10月13日(日)の2日間とする。

2 派遣人員

- (1) 10月12日(土)35人
消防指揮者1人、救急隊2隊6人(7:00~19:00)3交代
救護所7人(8:00~17:00)2交代
- (2) 10月13日(日)35人
消防指揮者1人、救急隊2隊6人(7:00~19:00)3交代
救護所7人(7:00~18:00)2交代
- (3) 10月13日(日)4人
化学車隊1隊4人(13:00~17:00)

3 鈴鹿サーキットレーシングコース救護体制

- (1) 救護本部(交通教育センター内)
消防指揮者1人
高規格救急車1台配備(もてぎサーキットより)・・・運行は消防の救急隊員3人
- (2) 南コース入口テクニカルセンター
高規格救急車1台配備(もてぎサーキットより)・・・運行は消防の救急隊員3人
- (3) コース内救護所7箇所(各1人)
消防救急隊員7人
- (4) 化学車隊
正面レーシングコース内ピットロード付近にて、火災対応として1車両4人配備。

4 傷病者発生時における対応

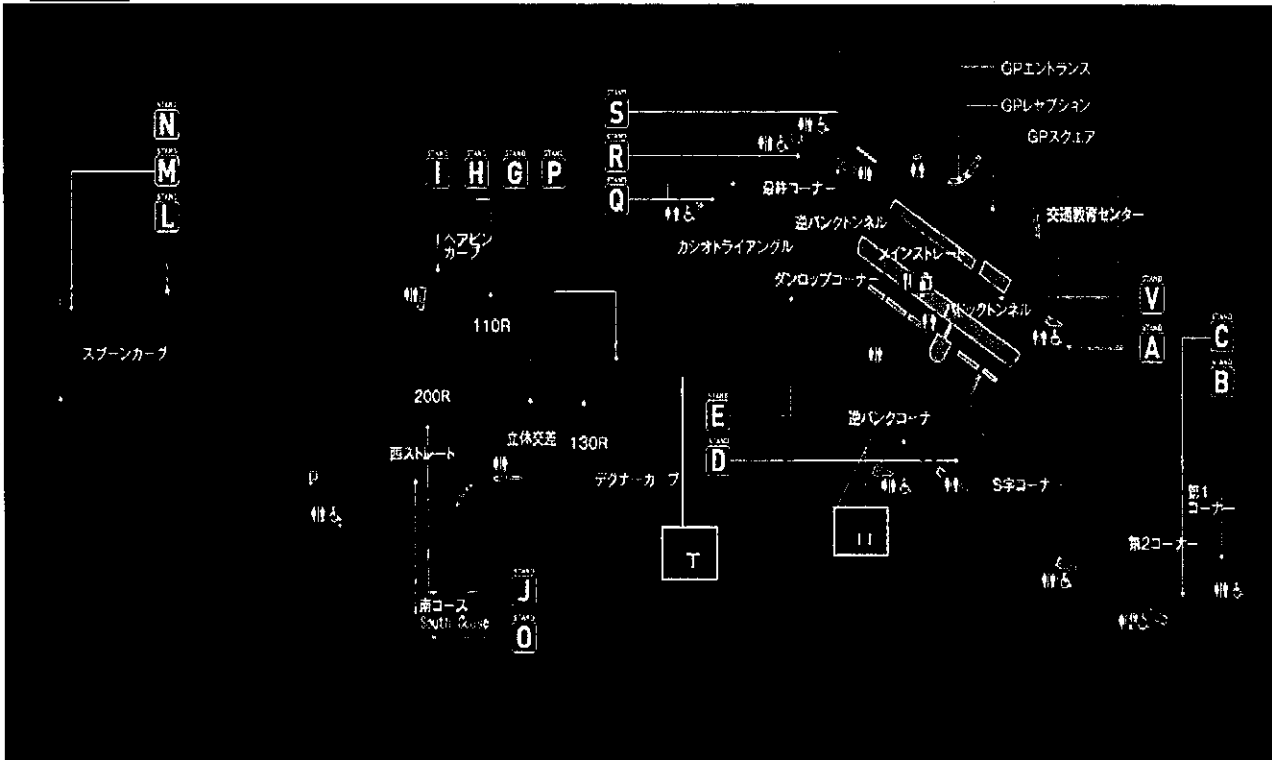
- (1) 観客席での傷病者発生についてのみ、救護本部の指揮により救護所にて簡易処置又は救護本部への搬送を行い医師の診察を受ける。
- (2) 救護本部の医師の判断により救急車で医療機関へ搬送する。

鈴鹿サーキットレーシングコース救護体制

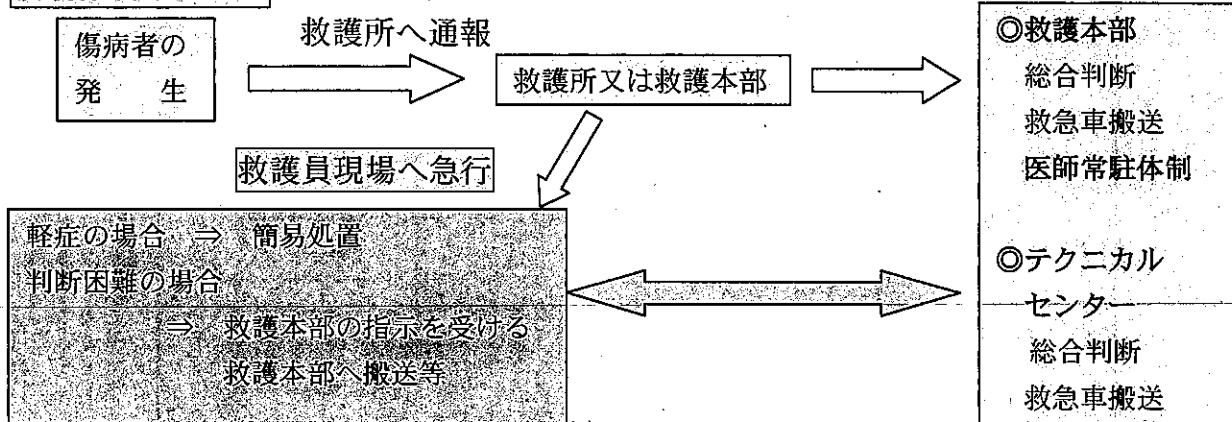
消防職員配置員数及び場所

	STEC 救護所	A 席	C 席	テクニカル センター	ヘアピン	スプーンカーブ	逆バンク	130R	最終コーナー
救急車配置	高規格救急車	-----	-----	高規格救急車	-----	-----	-----	-----	-----
員数	4	1	1	3	1	1	1	1	1
位置	交通教育 センター	A	C	T	I	M	U	G	R

参考図



救護体制イメージ



※その他の救護所には、サーキット担当者・看護師・看護学生等で構成した救護員が待機。

鈴鹿地区交通円滑化 2013年度実施計画（案）

平成25年8月2日

鈴鹿市

1

《目次》

1. 2013年円滑化の目標
2. 目標達成に向けた取り組み（交通円滑化施策メニュー）
3. 参考2012年の交通円滑化施策の評価

2

1. 2013年円滑化の目標

3

1. 2013年円滑化の目標

- ◆これまでの目標を引き続き目標として掲げる
- ◆目標の達成度やデータ精度面、コスト面を踏まえ施策内容等を更新

目 標

全 体 鈴鹿周辺の渋滞解消時間の低減

F1 来場者数 最大15万人を想定

(1)鈴鹿周辺の渋滞解消時間 → 鈴鹿市内の速度低下5時間程度

★民間プローブデータによる評価

公共交通

公共交通機関利用を引き続き促進

(2)公共交通機関分担 → 31%以上

自動車

ボトルネック交差点等への交通集中の分散

(3)鈴鹿IC利用割合 (決勝日)

→ 20%以下

→ 利用時間ピークのカット(50%)※

※鈴鹿IC決勝レース終了後5時間内に流入交通の5割が通過する時間割合(2010年130分:43%、2009年80分:27%) なお本年度は鈴鹿IC出入り交通量で評価

4

2. 目標達成に向けた取り組み (交通円滑化施策メニュー)

5

2. 鈴鹿地区円滑化の主な施策と2013年の取組予定

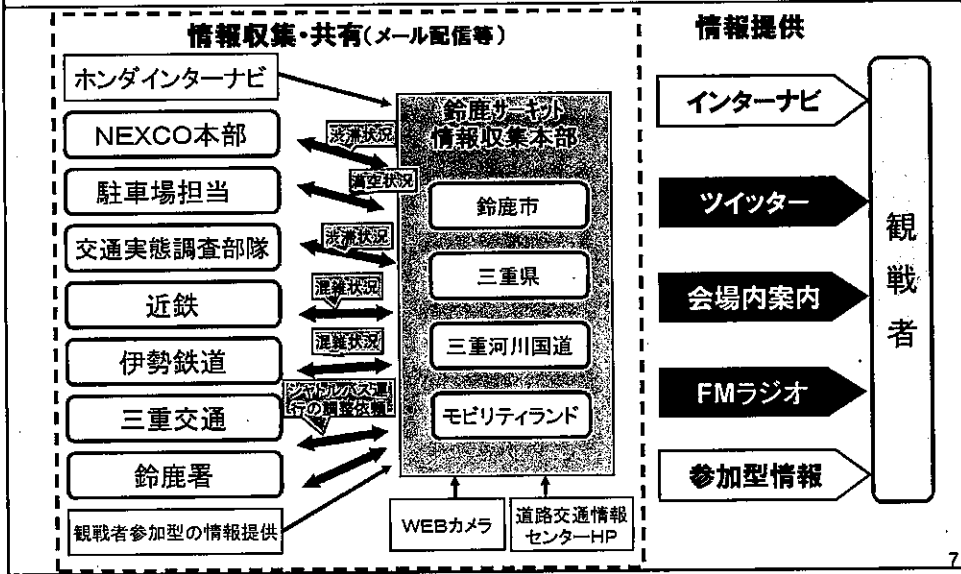
施策		実施主体	2009	2010	2011	2012	2013
公共交通機関	① 公共交通の定時運行、臨時便等増便(鉄道、バス)	近鉄、J.R. 伊勢線	○	○増便	○増便	○	◎
	② 白子駅シャトルバスルート(専用ルート区間)の設定	国土交通省、鈴鹿警察署、三友交通、鈴鹿サーキット、鈴鹿市	○2日間	○2日間	○3日間	○	◎
	③ 名古屋行き高速バスの運行	三友交通	○大阪も	○大阪も	○大阪も	○名古屋のみ	◎名古屋のみ
	④ 近郊都市駅前パーク&バスライドの実施	鈴鹿市	○	○	○	○	◎
	⑤ 駐車場事前予約の実施	鈴鹿サーキット	○	○	○	○	◎
自動車交通	⑥ VICSによる駐車場案内(満空情報)	国土交通省、鈴鹿サーキット、鈴鹿市	—	—	○	×	×
	⑦ 高速・国道 情報板・路側ラジオ	国土交通省、NEXCO中日本	○	○	○	○	◎
	⑧ コンビニ等での推奨ルートチラシ配布	鈴鹿サーキット、鈴鹿市	○	○	○	○	◎
	⑨ FMラジオによる駐車場案内・渋滞情報提供	FM鈴鹿、FM三重	○	○鈴鹿大	○同左	○	◎
	⑩ 道路交通規制・誘導員による案内	鈴鹿警察署、鈴鹿サーキット、三友交通、伊勢鉄道、鈴鹿市	○	○	○	○	◎
共通	⑪ 臨場会HPの設置(WEBアンケート、WEBカメラ設置含む)	国土交通省、鈴鹿警察署、鈴鹿市	○	○	○	○鈴鹿市	◎鈴鹿市
	⑫ 会場内ブースでの帰宅時の交通情報・渋滞情報の提供	国土交通省	—	○	○	○鈴鹿サーキット	◎
	⑬ ツイッターによる周辺情報の提供	国土交通省、鈴鹿市	○	○	○	○	◎
その他	⑭ 観戦席完全予約制(来場に対する時間的余裕)	鈴鹿サーキット	○	○	○	○	◎
	⑮ レース事後イベント実施(帰宅時間の集中抑制)	※おもてなし協会	○	○	○	○	◎
	⑯ 高速道路休憩施設での総合案内ブース設置(伊勢・鳥羽からの帰宅時間帯)	国土交通省、NEXCO中日本、鈴鹿市	○	○	○	×	×

次ページに主なものを紹介

6

2-1. リアルタイム情報収集・提供システムの概要

- ◆サーキット内に本部機能を構築(モビリティランド、県、市、関係機関が常駐)
- ツイッターにおいてリアルタイムに観戦者へ情報を提供
- ホンダイターナビ情報も期間限定で提供



2-2. ホンダイターナビ交通情報の提供

- ◆F1協議会ページにて周辺の道路渋滞情報(インターナビ情報)を提供

■鈴鹿F1日本グランプリ
地域活性化協議会HP: TOPページ(イメージ)

SUZUKA21 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会

鈴鹿サーキット周辺の渋滞状況
現在の鈴鹿サーキット周辺の渋滞状況を表示しています。右のメニューから知りたいエリアを選択してください。
この情報は本田技研工業株式会社から提供しています。

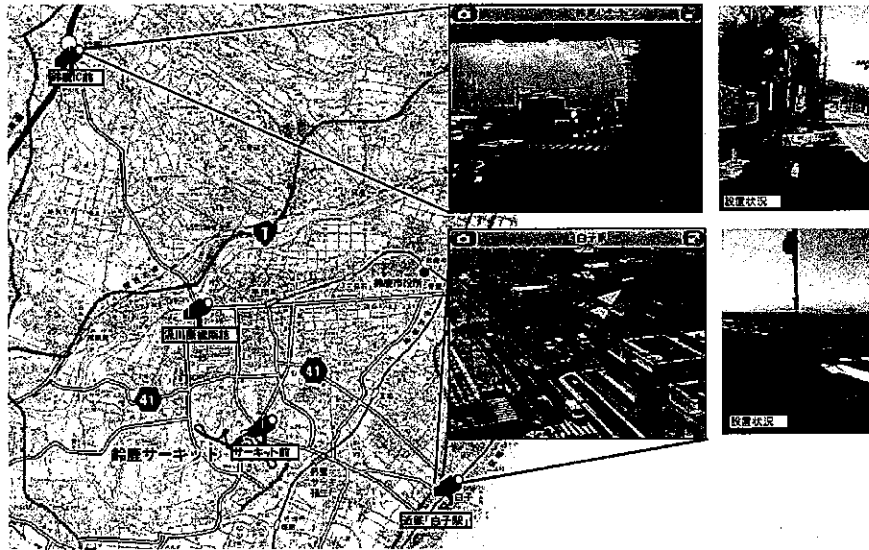
矢印の色で走行速度を表示

Powered by Honda Intemavi 2013年10月12日 15:30時点

■ホンダ インターナビ
インターナビサービス契約者の車両データやVICSデータを活用し、リアルタイム(5分単位)で区間上の走行速度を表示するシステム。
契約者向けのサービスだが本田技研工業(株)の協力により期間限定で一般に公開。

2-3. WEBカメラによる周辺状況の把握

◆白子駅前、鈴鹿IC前交差点など主要な拠点の交通状況をリアルタイムに把握



2-4. ツイッターによる周辺情報の提供

◆携帯端末で渋滞発生時刻や箇所、鉄道、バス等の交通情報を発信

◆リアルタイム情報により観戦者の来場・帰宅を支援

【ツイッター画面】

関係機関 → 情報収集本部 → シャトルバス (シャトルバス 乗530分)

サーキット会場 → 情報収集本部 → 駐車場 (鈴鹿ICで60分)

情報収集本部 → シャトルバス (もう少し遅いから乗る)

鈴鹿サーキット 交通

17:23 渋滞発生情報

【ツイッター】

3. 参考2012年の交通円滑化施策の評価

11

3. 交通円滑化の目標の達成度

- ◆ 鈴鹿周辺の渋滞解消時間は、5時間程度と目標を達成
- ◆ 公共交通機関分担は、概ね3割を維持
- ◆ 鈴鹿ICへの交通集中分散は、過年度と同レベルを維持

項目	目標		2006 (参考)	達成状況			
				2009	2010	2011	2012
鈴鹿周辺の 渋滞解消時間(決勝日)	市内主要路線 5時間程度		—	7時間 程度	5時間 程度 達成	5時間 程度 達成	5時間 程度 達成
公共交通機関利用の向上 公共交通機関分担	31% 以上	3日間	25%	29%	31%	29%	28%
ボトルネック交差点等への 交通集中の分散 鈴鹿IC利用割合 (決勝日)	鈴鹿IC 利用	帰宅時 ※	—	24%	25%	27%	27%
	20% 以下	終日	21%	22%	22%	22%	23%
	IC利用時間の分散 (均等利用)		—	27%	43%	43%	47%

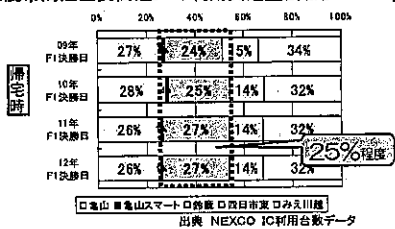
※レース終了後8時間

12

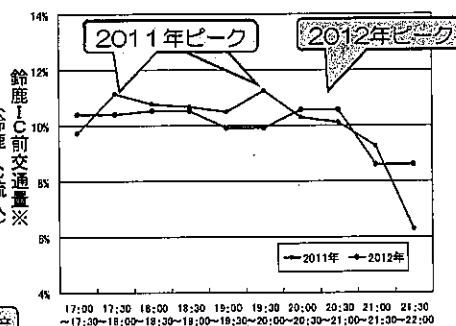
(3) 鈴鹿IC利用割合

- 決勝日夕方(8時間)の周辺高速インターチェンジ(IC)の利用台数の割合を比較
→ 鈴鹿ICの利用は約3割と、これまでの割合を維持
- 鈴鹿ICの時間帯別の利用台数推移を昨年と比較(時間分散を分析)
→ 鈴鹿ICのピーク時間が昨年に比べ遅い時間に、分散化の傾向

【鈴鹿市周辺主要高速ICの利用交通量割合】



【時間帯別の鈴鹿IC利用(30分交通量/総利用交通量)】



【主要高速ICの通常日曜と決勝日の交通量割合】

